

(2) 地域子ども・子育て支援事業における実績および見直し案について

①利用者支援事業

【社会福祉課 子育て支援係】

事業概要	子ども又は子どもの保護者からの相談に応じ、子育てや教育・保育の利用に必要な情報の提供、助言などを含めた支援を行う事業。(新制度による新規事業)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
見込み量 (計画値)	0 か所	1 か所	1 か所	1 か所	1 か所
実施か所 (実績値)	0 か所	1 か所	か所	か所	か所
乖離率 (実績÷計画)	100.0%	100.0%	—	—	—
見直し案	実績との乖離が少ないため、見直しは実施しない。				
課題・今後の方向性	利用者支援員の在り方、場所についても検討が必要。				

②地域子育て支援拠点事業

【社会福祉課 子育て支援係】

事業概要	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業。 (実施か所：3か所)				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
見込み量 (計画値)	8,420 人日	8,420 人日	8,420 人日	8,420 人日	8,420 人日
延べ利用人数(実績値)	18,629 人日	17,941 人日	人日	人日	人日
乖離率 (実績÷計画)	221.2%	213.1%	—	—	—
見直し案				17,854 人日	17,854 人日
	実績との乖離が大きいため、見直しを実施。 直近3年度の利用実績の平均値を基に再算定。				
課題・今後の方向性	核家族化が進む中、地域で子育て相談や情報交換ができる「子育てひろば」の存在は子どもを持つ保護者に必要である。				

③妊婦健康診査

【健康増進課 母子保健係】

事業概要	妊婦が定期的に行う健診費用を助成する事業です。				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
見込み量 (計画値)	393 人	386 人	376 人	366 人	356 人
延べ利用人数(実績値)	415 人	400 人	人	人	人
乖離率 (実績÷計画)	105.6%	103.6%	—	—	—
見直し案	実績との乖離が少ないため、見直しは実施しない。				
課題・今後の方向性	妊婦の健康のため、妊婦健診への助成は必要不可欠である。				

## ④乳児家庭全戸訪問事業

【健康増進課 母子保健係】

事業概要	子育てについての情報提供や養育環境の把握、相談・助言等の援助を行う等の目的で、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を保健師及び母子保健推進員が訪問する事業。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見込み量(計画値)	393人	386人	376人	366人	356人
訪問人数(実績値)	388人	397人	人	人	人
乖離率(実績÷計画)	98.7%	102.8%	—	—	—
見直し案	実績との乖離が少ないため、見直しは実施しない。				
課題・今後の方向性	訪問率は平成27,28年度とも100% 児童虐待予防の観点からも今後も全戸訪問をしていく。				

## ⑤養育支援訪問事業

【健康増進課 母子保健係】

事業概要	養育支援が特に必要な家庭を保健師及び家庭相談員等専門員が訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための支援を行う事業。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見込み量(計画値)	184人	181人	178人	175人	172人
訪問延べ人数(実績値)	161人	153人	人	人	人
乖離率(実績÷計画)	87.5%	84.5%	—	—	—
見直し案				149人	147人
	実績との乖離が大きいため、見直しを実施。 平成28年度実績に計画年度中の0-18推計人口の変動率を乗じて再算定を行いました。				
課題・今後の方向性	妊婦や子育て中の保護者の身体的・精神的安定を図り、安心して出産育児ができる環境を整備することは児童虐待予防にもつながり、必要不可欠である。				

## ⑥子育て短期支援事業

【社会福祉課 子育て支援係】

事業概要	保護者が疾病等により家庭での養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設等において宿泊を伴う養育・保護を行う事業。				
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
見込み量(計画値)	40人日	40人日	40人日	40人日	40人日
延べ利用人数(実績値)	1人日	0人日	人日	人日	人日
乖離率(実績÷計画)	2.5%	0.0%	—	—	—
見直し案				28人日	28人日
	実績との乖離が大きいため、見直しを実施。 過去の実績値で最大であった年度の27人日を基とし、今後の利用の伸びを考慮して再算定を行いました。				
課題・今後の方向性	平成27,28年度と利用実績はありませんが、児童及びその家族の福祉の向上を図ることを目的としている事業であり、今後も事業の継続は必要である。				

⑦ファミリー・サポート・センター事業（就学児対象）【社会福祉課 子育て支援係】

事業概要		子育ての手助けがほしい人（依頼会員）、子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）、両方を兼ねる人（両方会員）が登録し、子育ての相互援助活動を行う事業。				
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
1 3 年 低 学 年	見込み量（計画値）	1,000 人日	1,000 人日	1,000 人日	1,000 人日	1,000 人日
	延べ利用人数（実績値）	358 人日	430 人日	人日	人日	人日
	乖離率（実績÷計画）	35.8%	43.0%	—	—	—
見直し案					394 人日	394 人日
4 5 6 年 高 学 年	見込み量（計画値）	69 人日	68 人日	1,000 人日	1,000 人日	1,000 人日
	延べ利用人数（実績値）	368 人日	448 人日	人日	人日	人日
	乖離率（実績÷計画）	533.3%	658.8%	—	—	—
見直し案					408 人日	408 人日
見直し案		平成 29 年度より高学年（小学 6 年まで）の利用を開始する。試験的に平成 27 年度より高学年の受入れを行っているが、大幅な利用があり、直近 2 年度の利用実績を基に再算定を行いました。また、低学年の見込み量も合わせて利用実績を基に再算定を行いました。				
課題・今後の方向性		提供会員の確保と資質の向上を図る。				

⑧一時預かり事業（幼稚園）

【保育幼稚園課 保育幼稚園係】

ファミサポ【社会福祉課 子育て支援係】

事業概要		家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児又は幼児について、幼稚園で一時的に預かりを行う事業。幼稚園以外はファミリー・サポート・センターを活用。				
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
幼 稚 園	見込み量（計画値）	17,131 人日	17,131 人日	16,742 人日	16,917 人日	16,474 人日
	延べ利用人数（実績値）	10,277 人日	10,871 人日	人日	人日	人日
	乖離率（実績÷計画）	60.0%	63.5%	—	—	—
見直し案					11,500 人日	11,500 人日
見直し案		平成 27 年度（17,131 人日⇒10,277 人日）、平成 28 年度（17,131 人日⇒10,871 人日）の実績を基に量の見込みの再算定を行いました。				
未 就 学 児 ファミサポ	見込み量（計画値）	1,500 人日	1,500 人日	1,500 人日	1,500 人日	1,500 人日
	延べ利用人数（実績値）	1,231 人日	1,555 人日	人日	人日	人日
	乖離率（実績÷計画）	82.1%	103.7%	—	—	—
見直し案		実績との乖離が少ないため、見直しは実施しない。				
課題・今後の方向性		保護者のパートタイム就労や疾病・出産などにより、一時的に保育が必要となる世帯があり、今後も事業継続は必要である。				

⑨延長保育事業

【保育幼稚園課 保育幼稚園係】

事業概要	保育所利用者を対象に、通常の保育時間以降に保育を希望する場合に提供する事業。				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
見込み量（計画値）	470 人	470 人	470 人	470 人	470 人
利用人数	418 人	457 人	人	人	人
乖離率（実績÷計画）	88.9%	97.2%	—	—	—
見直し案	実績との乖離が少ないため、見直しは実施しない。				
課題・今後の方向性	今後もニーズに沿った事業を実施していきます。				

⑩病児保育事業

【社会福祉課 子育て支援係】

事業概要	病気や回復期の子どもを一時的に預かります。病児保育事業は、現在、市外小児科併設の施設で実施。軽い病気や回復期等はファミリー・サポート・センターでの対応を実施。					
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
病児保育	見込み量（計画値）	93 人日	93 人日	93 人日	93 人日	93 人日
	延べ利用人数（実績値）	124 人日	214 人日	人日	人日	人日
	乖離率（実績÷計画）	133.3%	230.1%	—	—	—
見直し案				206 人日	206 人日	
ファミサポ	見込み量（計画値）	65 人日	65 人日	65 人日	65 人日	65 人日
	延べ利用人数（実績値）	60 人日	26 人日	人日	人日	人日
	乖離率（実績÷計画）	92.3%	40.0%	—	—	—
見直し案				39 人日	39 人日	
	【病児保育事業】平成 28 年度より 1 日の定員数が増員（定員 3 名→定員 8 名）のため、量の見込みが増加することが見込まれる。そのため、事業実績を基に再算定を行いました。 【ファミサポ】直近 3 年度の利用実績の平均値を基に再算定を行いました。					
課題・今後の方向性	保護者の仕事と育児の両立を支援するために必要な事業である。事業について広報し、登録者の増加を図る。市内小児科併設施設の検討。					

## ⑪放課後児童クラブ(全市合計)

【教育総務課 学事係】

事業概要		保護者が就労、疾病その他の理由により、昼間家庭において適切な育成を受けられない児童を対象に、適切な遊びや生活の場を提供し、健全育成を図る事業。				
		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
低 学 年	見込み量(計画値)	498 人	502 人	498 人	483 人	478 人
	利用人数(実績値)	471 人	505 人	人	人	人
	乖離率(実績÷計画)	94.6%	100.6%	—	—	—
見直し案		実績との乖離が少ないため、見直しは実施しない。				
高 学 年	見込み量(計画値)	0 人	94 人	94 人	143 人	170 人
	利用人数(実績値)	0 人	70 人	人	人	人
	乖離率(実績÷計画)	100.0%	74.5%	—	—	—
見直し案		実績との乖離が大きいが、校区により入室希望者の増加が見込まれるため、見直しは実施しない。				
課題・今後の方向性		児童数は減少傾向だが、入室希望者は増加すると予想される。指導員の確保が必要。				